

報道関係各位

2008年7月28日

## IC タグを活用した作業状況モニターシステムを開発しました 簡易操作で作業状況をリアルタイムに把握

株式会社バンテック(本社:横浜市、山田敏晴社長)とグループ会社の株式会社 Liti R&D(本社:札幌市、森戸 宏社長)はこのほど、IC タグによる「作業状況モニターシステム」を開発いたしましたのでお知らせいたします。

同システムは、物流センター内の作業員にICカードを持たせ、作業員の作業情報(誰が、いつ、どの作業を行っているか)をリアルタイムに自動収集し、作業日報データを容易にかつ高い精度で集計するもので、作業環境に応じて「作業タグタイプ」と「作業ボードタイプ」の2種類があります。

具体的には、作業員が氏名 IC タグを所持し、作業に入るごとにリーダーボックス(アンテナ)にかざすことで IC タグの読み取り時刻と作業員・作業項目を取得して作業データを管理します。この作業データは、物流センター内の無線 LAN で管理者のパソコンに転送され、管理者はリアルタイムで作業状況をモニターすることができます。同システムにより集めた、作業データは荷主様への請求業務や作業効率の検証などに活用できます。

バンテックは船橋物流センター(船橋市)にて、作業日報の作成から請求書の発行までの工数、コストとも半減することを目標に同システムの実証実験を実施しております。作業効率化のツールとして、また荷主様の信頼性向上に寄与するものと考え、バンテックグループの全物流センターでの導入を進めるとともに、将来的には市販する方針です。

### 【作業状況モニターシステムの特長】

#### ① 簡単操作

作業情報の登録は IC カードをリーダーボックスにかざすだけの簡単操作。作業スタッフへの簡単な教育ですぐに導入できます

#### ② 作業情報の可視化

データの転送をリアルタイムに行いますので、現時点での作業状況を把握することができます

#### ③ 集計作業時間の低減

自動集計した作業情報を作業日報に利用することで、日報の集計・作成の時間を低減できます。

#### ④ 容易な導入とメンテナンス

無線LANに対応しており、電源が取れる場所であれば容易に設置することができる。作業情報はエクセル形式で記録されるため、他のアプリケーションとの連携が可能です。

### システム概念図

